

自ら安全に気を付けて行動する子どもを育むために ～幼児期にふさわしい生活を通して～



体の動きを調整しながら



交通ルールを意識して



身を守る姿勢を覚える

幼稚園等においては、子どもが健康で安全な生活を送ることができるよう、子どもとの信頼関係を築き、個々の子どもが安定した情緒の下で行動できるようにすることが大切です。

また、子どもが友達や周囲の人々の安全にも関心を向けながら、次第に自ら安全な行動をとることができるように、発達の実情に応じて指導を行う必要があります。

幼児期にふさわしい生活を通して、自ら安全に気を付けて行動する子どもを育むために、以下の3つの視点から、幼児期の安全教育の在り方についてまとめました。

- ・ 安全についての構え
- ・ 交通安全の習慣
- ・ 緊急時の適切な行動



大切にしたい経験と具体的な子どもの姿	☆安全についての構えを身に付けるために「安全についての構え」とは、子どもが自分で状況に応じて機敏に体を動かし、危険を回避することであり、安全な方法で行動をとろうとすることです。ここでは、それぞれの時期に大切にしたい経験について四角囲みで表すとともに、具体的な子どもの姿の例を取り上げました。		
	安	3歳	危険に気付かずに行動したり、予想もしない場で思わぬ動き方や遊び方をしたりする。
	周囲の状況把握 保育者とのつながりを感じながら、自分から動き出そうとする お山のトンネルつながったね! ・大好きな保育者と一緒に砂山を作って楽しんでいる。 わ〜い!もっと押して〜! 周囲のことがおおよそ分かり、自分なりに考えて動かそうとする ・年上の友達のしている事に気付き、頼ったり、一緒に遊んだりしている。		
	危険の認知 園の生活の仕方や流れ、してはいけないことがあることが分かる はっっこに並ぶんだよね。 ・順番にお茶を汲み、ぶつからないように戻っている。		
	機敏な体の動き 思い切り体を動かして遊ぶ心地よさを感じる どんぶりころころ♪ ・バランスをとって橋を渡ったり、マットの上で回転したり、のびのび体を動かしている。		
大切にしたい経験と具体的な子どもの姿	4歳		
	行動の種類も範囲も広がり、様々な経験をする中で、危険に対する感受性が高まってくる。		
	自分なりに安全に気をつけて遊ぼうとする 危ないからまだ待ってね! ・小さい子がぶつからないように守っている。 このスクーターだったら乗れるよ! ・自分ができるスクーターを選んで遊んでいる。		
	けがをしやすい遊び方や危険な場所に気付く ぬれてるからぶこうか! ・テラスにこぼれた水を拭いている。 この前ここで危ない思いをしたな。 ・以前の経験から、危険に気付いて遊んでいる。		
	様々な体の動きに興味をもち、挑戦しようとする こんなふうにとべるようになったちゃった! ・あやとびの練習を楽しんでいる。 もう一回やろう! ・できるようになったことを繰り返している。		
大切にしたい経験と具体的な子どもの姿	5歳		
	友達と協同しながら、見通しをもって安全な生活を送ろうとするようになる。		
	友達の様子や周囲の状況を感じて、考えて行動する 今日はこっから片付けよう。 ・混雑しない片付け方を考えている。 次の人はここで待ってるね! ・間を空け自分たちで待機している。		
	危険な場や遊び方が分かり、安全への見通しをもつ ここに置いたら危ないね!順番に登ろうね。 ・友達と相談しながら基地作りを進めている。 手はここで足はこっち… ・安全な登り方を考えて岩に登っている。		
	様々な体の動きに興味をもち、挑戦しようとする 私もできるかな?えい!少し難しい。 ・体の動きを調整しながらけん玉に挑戦している。 もう一回やろう! ・できるようになったことを繰り返している。		
指導のポイント	環境	○やりたいと思う遊びができるように、十分な量の素材や遊具、用具を準備する。 ○思い切り体を動かし気持ちを発散できるように、時間と空間を十分に確保する。	
	援助	○保育者に親しみを感じ安心して遊べるように、保育者が一緒になって遊びを楽しむ。 ○心地よく園生活を過ごせるように、遊びや生活を通して、約束事や決まりを分かりやすく伝える。	
	ポイント	○経験を広げられるように、新しい遊具や用具の出し方や遊び方を工夫する。 ○できることを繰り返しながら多様に体を動かして遊べるように、必要に応じて遊具や用具を残しておく。 ○新しい遊びを楽しめるように、子どもの思いを認めながら、自分なりの試しを認めていく。 ○危険なことに子ども自身が気付けるように、保育者が一緒に遊びながら危険について伝えていく。	

交	☆交通安全の習慣と緊急時の適切な行動		
	交	緊急	緊急
	保育中のエピソード 「危なかったね」(3歳7月) 三輪車に乗って遊ぶA児の前にカエルが飛び出した。B児が「カエルひいちゃうよ!」と声をかけると、A児は急ブレーキをかけて止まった。二人は、「危なかったね」「逃がしてあげよう」と優しくカエルを逃がした。		
	避難訓練の様子から 普段聞き慣れない放送に耳を傾ける子どもたち。担任の「〇〇組さんおいで」の声かけに合わせて担任の近くに集まることができた。担任や友達がいることもあり、動揺せずに避難場所である園庭中央付近で待機することができた。 状況 ・中程度の地震 ・戸外遊び中		
	交通安全イベントから 指導員のパネルシアターによる話を聞きました。また、実物大の信号機を使い、模擬道路を渡りました。 ねらい 約束を守り、横断歩道を渡ってみる。 内容 ・動きを声に出しながら、信号に応じて横断歩道を渡る。 ・道路は危ない場所であることを知る。		
	避難訓練の様子から 「赤信号です!」(4歳6月) スクーターに乗って遊んでいたC児の前に大きな水たまりが。教師が回り道を描くと、「赤信号です!カッコ!カッコ!…はい!通っていいですよー!」と信号機を真似たD児が交通整理を始めた。ルールを守り、いつの間にか一方通行で走っていく流れができた。		
交	交	緊急	緊急
	保育中のエピソード 「先生の話や災害の合図に耳を傾けて!」 ☆先生の話や災害の合図に耳を傾けて! ☆災害に応じた対処法で行動して!		
	避難訓練の様子から 地震の合図とともに「机の下に隠れましょう!」という先生の声をしっかり聞いて、机の下に隠れる子どもたち。次の指示を注意深く待っている。その後の火災の合図とともに、ハンカチで口元を抑え、「お・は・し・も」を守り一人一人が落ち着いて避難ができた。 状況 ・地震⇒火災 ・朝の集い中		
	交通安全イベントから ミニチュア街づくり(5歳10月) 移動する遊具で遊ぶうちに、部屋の中にダンボールで道路標識や踏切を作り始めた。養生テープで横断歩道や車線も作った。「このマークは止まるんだよね」「見たことある!危ないところにあるんだよ」と、交通ルールについて話題にしながら、やりとりが進んでいった。 ねらい 道路での状況判断の大切さを知る。 内容 ・青信号だからといって安心ではないことを知る。 ・自分で適切に判断しようとする気持ちをもつ。		
	避難訓練の様子から 机がない状況で、地震の放送を聞いて部屋の中心に集まり、カバンを頭の上に乗せ、小さく丸まっている子どもたち。その後、火災の放送を聞きとっさに口を塞ごうとするが、ハンカチを忘れていた子どもはティッシュを出し、ぎゅうっと抑え、腰を低くして避難した。終了後、全員で避難の仕方を振り返った。 状況 ・地震⇒火災 ・降園準備中		



学校安全計画は 策定・実施されていますか？



学校安全計画(2019年度)

月		4	5	6	7・8	9	10	11
行事		入園式・始業式	避難訓練(火災)・遠足(バス)・園外保育・防災館体験・身体測定	避難訓練(竜巻)・園外保育・プール開き	園外保育・納涼祭・お泊り保育・プール納め・身体測定	運動会・遠足(バス)・避難訓練(地震)・引き渡し訓練・身体測定	園外保育・終業式・遠足(バス)・始業式・避難訓練(浸水)	マラソン大会・全教員研修(不審者対応)
安全 生活 活動 安全 完全 教育	生活	○園内の安全な生活の仕方 ＜園庭＞ ・遊びの場や遊具(固定遊具を含む)、用具の使い方 ・活動するときや遊ぶ時のきまりや約束 ・困ったときの対応の仕方 ＜園舎内＞ ・園内探検(保育室や園舎内の場所の確認) ・きまりや約束	○園内の安全な生活の仕方 ・生活や遊びの中で必要な道具や用具の使い方(いす、はさみ等) ・通園バスの乗り降りの仕方や待ち方の約束を知る ○集団で行動するときの約束 ・教職員の指示を聞く	○雨の日の安全な生活の仕方 ・室内での過ごし方 ・廊下、階段、テラスの歩き方(右側通行) ・遊具の扱い方 ○水遊びのきまりや約束 ・準備体操 ・プールでの約束	○夏季休業中の生活について安全で楽しい過ごし方 ・誘拐、事件に巻き込まれないように注意する ・一人で遊ばない ○水遊びのきまりや約束 ・準備体操 ・プールでの約束	○生活のリズムを整え、楽しく安全な生活 ・登降園時の約束 ・遊具、用具、固定遊具の安全な使い方 ○戸外で体を十分動かして遊ぶ ○集団行動の仕方を知り、進んで行動する	○様々な遊具の安全な使い方、遊び方 ・後に使う人の安全を考えた片付け方 ・縄跳びの縄の扱い(長縄、短縄) ○集団で行動するときの約束 ・教職員の指示を聞く ・自ら気を付ける	○まもる(不審者) ・知らせる(通報) ○様々な安全な使い方 ○暖房に関する
	交通安全	○安全な登降園の仕方 ・初歩的な交通安全の約束 ・保護者と手をつないで横断する ・駐車場の歩き方 ・通園バスの待ち方 ・乗降時の交通安全	○遠足、園外保育での交通安全 ・道路の安全な歩き方 ・バスの乗降の仕方 ・バスの中の安全な過ごし方	○雨の日の安全な降園の仕方 ・通園バスの安全な待ち方、乗降車の仕方 ・安全な歩行の仕方 ○園外保育での安全な歩き方 ・列に並ぶ、間隔を空けない	○夏休みに向けて ・飛び出しをしない ・道路では遊ばない ・自動車の前後の横断 ・駐車場や道路の歩き方 ・道路の横断	○遠足での交通安全 ・バス乗降時 ・バスの中の安全な過ごし方 ・道路の横断 ○安全な登降園の仕方	○遠足での交通安全 ・バス中の安全な過ごし方 ・駐車場では、保護者と手をつないで歩く ・道路の横断	○登降園の交通安全 ・気を付ける ・自分
	災害安全	◎避難(防災)訓練の意味や必要性 ○避難の仕方 ・避難訓練の合図(園内放送等) ・避難経路(非常用滑り台、テラスから)避難の確認 ・「おかし虫」の約束 ・だんご虫のポーズの練習	◎火災避難訓練:園内放送で伝達 ○火災のときの避難の仕方 ※保育室で保育中の場面 ・火災時は靴をかせない ・教師の指示を聞き避難 ・ハンカチを鼻、口に当て姿勢を低くする ○災害を想定しての引き渡し訓練(学年別) ○防災館体験 ・地震の揺れ、火災時の煙、強風の体験を通して、身を守る方法を知る	◎竜巻避難訓練:園内放送で伝達 ○竜巻の時の避難の仕方 ・窓から離れる ・帽子をかぶる ・だんご虫のポーズをとる ・集団にまとまり、ブルーシートをかぶる ・漏斗雲など竜巻が発生しやすい雲について知る	◎地震避難訓練:園内放送で伝達 ○地震が起きたときの避難の仕方 ※保育室で保育中の場面 ・落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に移動し、だんご虫のポーズや頭を身近にあるもので守る ・「いかにし」の約束	◎地震避難訓練:園内放送で伝達 ○地震が起きたときの避難の仕方 ※保育室で保育中の場面 ・落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に移動し、だんご虫のポーズや頭を身近にあるもので守る ・「いかにし」の約束	◎浸水避難訓練:園内放送で伝達 ○浸水時の避難の仕方 ・全園児2階保育室に避難	◎不審者対応 ・放送 ・避難時の約束 ・教師 ・「いかにし」の約束
	安全管理	○定期点検 ・安全点検システムの整備 ・毎月、点検実施 ○園舎内外の環境の点検、整備、清掃(年間を通して) ○保育室の遊具、用具の点検、整備、清掃(年間を通して) ○戸外での遊び、遊びの場、幼児の遊びの動線への配慮(年間を通して)	○園外保育・遠足等の目的の地の実地踏査 ○消防署の指導により教職員の通報訓練、初期消火訓練、消火訓練	○プール活動に向けて ・清掃、水遊びの遊具、用具の安全点検 ・プールの水質、温度の管理 ・プール指導中の事故、注意事項等の共通理解 ○雨天時の園舎内外の安全点検 ○冷暖房機の点検、清掃	○夏季休業中の園舎内外の施設、設備の見回り ○夏休み明け、保育が始まる前に保育室内外の清掃、遊具・用具の安全点検 ○屋内消火栓の使い方(事業者立会い)	○使い慣れた遊具、場所の安全指導	○園外保育、遠足等の目的の地の実地踏査	○冷暖房
学校組織安全活動に関する		○園だより、手紙等 ・園生活を安全に過ごすためのきまり、約束を連絡(登降園の仕方、出欠の連絡、けが・病気に関する連絡方法、災害時の対応) ・通園状況の把握 ・連絡メールの作成 ○遊具や園内設備の安全点検表の作成		○救急講習(消防署による指導) ・緊急時の応急処置法 ・AEDの使い方	○園だより、手紙等 ・夏休み中の過ごし方(交通安全、事故・災害等に関する注意事項)	○園だより、手紙等 ・台風時の対応(連絡メール)の確認 ・引き渡し訓練実施のお知らせと参加依頼		



学校安全計画って何??



学校安全計画は、学校保健安全法第27条により、全ての学校で策定・実施が義務付けられているものであり、安全教育の各種計画に盛り込まれている内容と安全管理の内容とを関連させ、統合し、全体的な立場から、年間を見通した安全に関する諸活動の総合的な基本計画です。

学校安全計画には、少なくとも、①学校の施設及び設備の安全点検、②児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、③職員の研修に関する事項を盛り込むことが必要です。

園生活の中で、大きな怪我やその要因にはどのようなものが多いのでしょうか？



幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所では、上肢（腕・手・手指）の骨折が多く報告されています。その要因は、「自らの転倒・衝突によるもの」が最も多く、次いで「遊具等からの転落・落下」となっています。（内閣府「教育・保育施設等における重大事故防止策を考える有識者会議年次報告 中間報告」平成 30 年 5 月を参照）



安全教育を推進するための参考資料には、どのようなものがあるのでしょうか？

『「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育』（改訂 2 版）は、平成 31 年 3 月に文部科学省が刊行したものです。学校を取り巻く新たな状況を踏まえつつ、安全教育の充実と、適切な安全管理に役立つ資料です。下のアドレスからもダウンロードすることができます。



https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/seikatsu03_h31.pdf

安全に関わる主な法令には、どのようなものがあるのでしょうか？



幼稚園及び幼保連携型認定こども園における安全管理は、「学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）」に準拠しています。また、保育所における安全管理は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和 23 年厚生省令 63 号）」に準拠しています。

栃木県の学校安全の推進



県では、学校の教育活動全体を通じて適切に安全教育が行われるよう、研修会等を通して教員の危機管理意識の高揚や指導力の向上に努めています。

新規採用幼稚園教諭等研修／幼稚園等教職 5 年目研修／中堅幼稚園教諭等資質向上研修



対象：各年次に該当する幼稚園教諭及び幼保連携型認定こども園保育教諭

安全教育指導者研修会



対象：県立学校安全教育担当教員、県内公立全小・中学校及び義務教育学校の教頭又は学校安全担当教員等

安全管理・危機管理研修会



対象：県立学校教職員（教頭、主幹教諭又は教務主任、学校安全担当教員等）

令和元（2019）年度幼児教育調査研究委員会

【委員】

落合 美里 高根沢町のびのび保育園
加藤 加奈 氏家幼稚園
坂本 絵美 上横田よつば保育園分園みつば保育園
鈴木 美香 認定こども園真岡ひかり幼稚園
田代 寿樹 那珂川町立わかあゆ認定こども園
村田 温美 認定間々田こども園

【事務局】

栃木県教育委員会学校安全課
栃木県教育委員会義務教育課
栃木県幼児教育センター
（所属は令和 2 年 3 月現在）

※リーフレットは、栃木県幼児教育センターの Web サイトよりダウンロードできます。

リーフレット「自ら安全に気を付けて行動する子どもを育てるために」の活用について

令和2（2020）年3月

栃木県幼児教育センター

栃木県総合教育センター幼児教育部

以下の活用例を参考に、幼稚園・こども園・保育所の実態に合わせ、工夫して御活用ください。

活用例 1 保育の充実

- ・環境の構成や援助を考える手立てに
- ・避難訓練や交通安全イベントの内容を考える手立てに
- ・カリキュラムの作成・見直しの視点に

活用例 2 園内研修

- ・安全をテーマにする園内研修の資料に
- ・安全に関する計画を見直す手立てに
- ・若手の指導に

例えばこんな使い方ができます！

活用例 3 幼小の連携

- ・幼小の合同研修に
- ・地域や各市町の連携組織の研修テーマに
- ・幼小の教職員の情報交換、相互理解に

活用例 4 保護者会

- ・保育参観の資料に
- ・教育相談の資料に
- ・学年だよりや学級だよりの話題に

リーフレットは、栃木県幼児教育センターの
Web サイトよりダウンロードできます。

